

## △ニバジール錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ニルバジピン nilvadipine 【分類】 Ca 拮抗薬

【単位】  $\Delta 2\text{mg} \cdot \Delta 4\text{mg}/錠$

【常用量】 4~8mg/日

【用法】 分2

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし（臨床医薬 11: 1497, 1986）

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし（臨床医薬 11: 1497, 1986）

【特徴】 本態性高血圧に適用される 1 日 2 回投与型の Ca 拮抗剤。

【主な副作用・毒性】 肝機能障害、心房細動、期外収縮、徐脈、動悸、頻脈、房室ブロック、ほてり、浮腫、頭痛、めまい、血液凝固障害、肝障害、パーキンソン様症状、胃腸障害、便秘、歯肉肥厚など

【吸収】 尿中回収率より 65%以上 (1)

【F】 初回通過効果が大きく、14% (1)

【tmax】  $1.1 \pm 0.2\text{hr}$  (1)

【代謝】 主として肝薬物代謝酵素 CYP3A4 にて代謝 (1)

【排泄】 尿中に代謝物として 65%回収 (1) 尿中に未変化体は検出されない (1) 【CL/F】  $100\text{mL}/\text{min}/\text{kg}$  [po] (1)

【t1/2】  $10.9 \pm 1.0\text{hr}$  (1)

【蛋白結合率】 97.5~98.7% (1)

【Vd/F】  $100\text{L}/\text{kg}$  [po] (1)

【MW】 385.37

【透析性】 蛋白結合率が高いため、透析で除去されにくいと思われる (5) 除去されない (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない。平均血圧を 7% 下降させる血漿中濃度は  $0.5 \sim 0.7\text{ng}/\text{mL}$  (1) 【OW 係数】  $1.4 \times 10^4$  [1-オクタノール/水系] (1) 【pKa】 解離しない (1)

【相互作用】 リファンピシン併用により AUC が 97% 低下 (Saima S, et al: Br J Clin Pharmacol 53:203-6, 2002) CYP3A4 関連の相互作用に注意 (1)

【更新日】 20180524

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。